

村上祐資 | プロフィール

Yusuke Murakami Profile

[Profile]

南極やヒマラヤなど、極地とよばれる厳しい環境にある美しい暮らし方を探すために、様々な極地の生活を踏査してきた極地建築家。

2008年に第50次日本南極地域観測隊に越冬隊員として参加し、日本の南極観測基地である昭和基地で15ヶ月間にわたりミッションスペシャリストとして地球物理観測に従事。

2013年に米国の研究団体であるThe Mars Societyが発表した“史上最も過酷な模擬火星生活実験”とよばれる「Mars160」計画では、三年間にわたる選考をトップで通過し副隊長に選ばれる。2017年に“地球にある二つの火星”—米ユタ州ウェイネ砂漠のMDRS基地および北極圏デヴォン島のFMARS基地—で計160日間の実験生活を完遂。続く2018年の「MDRS Crew191 TEAM ASIA」では隊長を務めた。

“地球の三極”ともよばれる南極・北極・エベレストをはじめ、これまでに積み重ねてきた極地での生活経験は1000日を越え、人間が生きることと建築の係わりをひも解く“Inter-Survival”をテーマにした活動は、ワークショップやインスタレーション、ラジオパーソナリティー、教育、執筆活動など多岐にわたる。

[Expeditions]

- ▽ NASDA閉鎖環境適応訓練／クルー（2004）
- ▽ 第50次日本南極地域観測隊／地圏越冬モニタリング観測隊員（2008-10）
- ▽ 富士山測候所／研究観測者（2010,11,12）
- ▽ エベレスト登山隊／ベースキャンプエンジニア（2010）
- ▽ シシャパンマ登山隊／ベースキャンプエンジニア（2011）
- ▽ MDRS Crew144／クルーバイオロジスト（2014）
- ▽ Mars160／エグゼクティブオフィサー（2016,17）
- ▽ MDRS Crew191／コマンダー（2018）
- ▽ SHIRASE EXP.0／エグゼクティブオフィサー兼ディレクター（2019）

[Educational Background]

- ▽ 明治大学理工学部建築学科（都市計画）／学士
- ▽ 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科（環境デザイン学）／修士
- ▽ 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻（建築生産・構法）／満期退学

[Biography]

1978 福岡県北九州市生まれ

1986 父の駐在先である米NJ州で生活中に経験した、スペースシャトル・チャレンジャー号爆発事故が後の死生観の原点となる

1999- 建築学科在学中にBiosphere2プロジェクトを知り、計画者であるジョン・P・アレンとの交流が宇宙建築を志すきっかけとなる

2004 NASDA（現JAXA）の閉鎖環境適応訓練に実験被験者に選考された経験から、自らの身体で踏査することの重要性を知る

2005- 大学院博士課程に在籍し宇宙や極地の建築生産の研究を進めつつ、登山や建設重機整備・レンタル会社の現場で南極観測隊に選ばれるための自主的なトレーニングを積む

2008 第50次日本南極地域観測隊に越冬隊員として参加

2010- 南極越冬から帰国後、高所を中心に遠征隊に参加しながら極地の生活の踏査を続ける。また「秘密基地ヲ作ロウ。」という建築ワークショッププログラムを立ち上げ、子どもたちと一緒に制約下のなかでの建設プロセスを検討する実験を始める

2011 ヒマラヤ・シシャパンマB.C.で重度の高山病を発症し、肺水腫と脳浮腫により一時は生命が危ぶまれるも無事に下山し生還

2013- 大学や専門学、高校で非常勤講師をしながら、米国の研究団体である The Mars Society が公募したMars160（当時はMars Arctic 365という名称で、北極の模擬火星基地で1年間のシミュレーションを行う計画）の選考プロセスを進む

2014 Mars Arctic 365のファイナリスト21人に残り、MDRS Crew144のクルーの一人として最終選考である2週間の共同生活にのぞむ

2015- ネパールで発生した巨大地震後の被災地応急支援として、プラスチック製のパネル組み立て方式の仮設ドームテントを設計開発。山岳村などへの支援活動を実施

2016 約1年間の計画の遅れを経て、Mars Arctic 365はMars160と変更になり、米ユタのMDRS基地と北極圏のFMARS基地でそれぞれ80日間、合計160日間の模擬火星実験生活を実施することになった。村上は選考をトップで通過し、副司令官として7人のクルーの一員としてMDRS基地のある米ユタ州ウェイン砂漠での80日間の実験生活にのぞむ

2017 1名の辞退、1名の変更を経て、また悪天候により実験は50日に短縮され、6名のクルーがMars160後半の北極圏デヴォン島FMARS基地での実験生活にのぞんだ。村上は引き続き副司令官として隊を支える重要な役割を果たした

2018 隊長としてMDRS Crew191 TEAM ASIAを編成、アジア人種の特性を活かした火星生活を検証する2週間の実験生活をMDRSで実施。ネパール地震の支援活動から生まれたドームテントを、カンボジアでプラネタリウムにアレンジしたNGO教育活動に参画

2019- 特定非営利活動法人フィールドアシスタントを設立。退役した元南極観測船SHIRASE5002を活用し、船を地球から火星へと移動する宇宙船と見立てた、国内民間初の模擬宇宙生活実験を実施

▽ 特定非営利活動法人フィールドアシスタント／代表 <http://www.fieldassistant.org>

▽ 公益財団法人日本極地振興会／理事 <http://kyokuchi.or.jp>

▽ POLEWARDS／アンバサダー <https://www.polewards.com>

▽ SPACE FOOD X／参画メンバー <https://www.spacefood-x.com>

[Media]

- ▽NHK WORLD/ロバート・キャンベル Face to Face 「Yusuke Murakami: The Key to Living Harmoniously in Extreme Environments」
- ▽ NHK Eテレ/又吉直樹のヘウレーカ! 「“狭い空間”でも居心地よくなりますか？」
- ▽ NHK BS1/「CREW191 フツアの7人が挑んだ火星移住実験」
- ▽ NHK WORLD/「CREW191: A Cameraman's Record of "Life on Mars"」
- ▽ NHK BSプレミアム/コズミックフロント☆NEXT 「ホーキング博士の提言100年以内に宇宙へ (2)」
- ▽ NHK BSプレミアム/コズミックフロント☆NEXT 「人類は宇宙移住できるか？」
- ▽ NewsPicks/The UPDATE #3 (ゲスト: 極地建築家・村上祐資氏)
- ▽ JFNラジオ/ON THE PLANET 水曜パーソナリティ (2015.4 - 2018.3)
- ▽ Yahoo!ニュース/いま「未知」は存在するの—探検家・角幡唯介x極地建築家・村上祐資 <https://news.yahoo.co.jp/feature/1198>
- ▽ 三菱電機DSPACE/わたしはこう観た! 映画「オデッセイ」日本で最も火星に近い男が語るメンタルマネジメント http://www.mitsubishielectric.co.jp/me/dspace/studio/movie/01_martian.html
- ▽ フィナム・アンプラグド/09 特集: 不確定な世の中を生き抜くためには。「極地建築家村上祐資さんと考える、防災&サバイバルグッズ。」
- ▽ FUTURE IS NOW/未来の暮らしに必要なのは、あたらしい「しきたり」
<https://fin.miraiteiban.jp/未来の暮らしに必要なのは、あたらしい「しきたり」>

[Awards]

- ▽ The Mars Society 20th Annual International Award (Mars160)
- ▽ ASIA DESIGN ART EXHIBITION 2018/KIDS AWARD (プラネタリムドーム)